

スイートコーン栽培における雄穂切除による倒伏軽減技術

山梨県の高冷地におけるスイートコーン夏秋栽培と平坦地における抑制栽培では、生育期が台風が発生期に重なるため、強風で倒伏し、品質・収量の低下や収穫等労力の増加が懸念されます。そこで、山梨県総合農業技術センターでは、スイートコーンの雄穂切除による台風等の強風による倒伏軽減を開発しましたので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 雌穂上位2～4葉を残して雄穂を切除することによって、強風による倒伏が軽減されます(図1、図2)。
2. 雄穂切除の時期は、平坦地と高冷地ともに絹糸抽出1週間後以降であれば、先端不稔の発生は切除しない場合と同等で、品質は維持されます。
3. 絹糸抽出1週間後以降に、雌穂上位2葉以上を確保して雄穂切除を行うと、切除しない場合と同等の収量が得られます(表1)。



図1 雄穂切除処理
雌穂の上位2葉以上を残して主茎を切除する。
写真は絹糸抽出1週間後、雌穂の上の2葉を残して雄穂を切除した株。

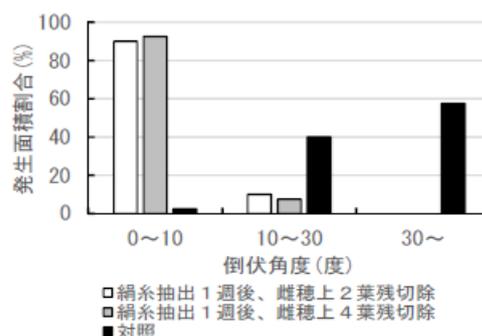


図2 処理の違いによる倒伏発生面積割合
2018年9月4日台風21号(蒲崎最大瞬間風速20.7m)
遭遇後調査、品種:ミキスイ788ST 播種日:7月10日
雄穂切除処理日:9月3日

表1 絹糸抽出1週間後における切除位置の違いによる果実特性

雄穂切除位置	平坦地(2019年)			高冷地(2018年)		
	雌穂重 (g)	剥き身重 (g)	穂心長 (cm)	雌穂重 (g)	剥き身重 (g)	穂心長 (cm)
雌穂上位2葉残切除	438.0	268.8	19.2	439.3	311.3	21.2
雌穂上位4葉残切除	429.5	267.3	19.2	440.3	319.3	21.4
対照	422.0	265.3	19.0	440.5	320.2	21.3

耕種概要 平坦地:品種 ゴールドラッシュ90 播種日8月13日、高冷地:品種 恵味ゴールド 播種日6月24日 定植日7月8日

☆ 活用面での留意点

1. 台風時には、降雨も倒伏の要因となるため併せて排水対策を行う必要があります。
2. 雄穂切除の作業時間は、鎌を用いて1人で行った場合は、10aあたり約2時間です。
3. 詳しいことは、山梨県総合農業技術センター栽培部野菜科 (TEL:0551-28-2496) までお問い合わせ下さい。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏)